

# 礼文の森から

宗谷森林管理署  
礼文森林事務所

## 森林事務所の仕事紹介

林野庁では、森林の持つ機能を十分に発揮できるよう国有林の管理経営を行っています。

そこで、これから数回に分けて、林野庁の仕事内容を皆様にご紹介していこうと思います。今回はその第1回目です。

林野庁は山づくり（森林整備）を「<sup>ちごしら</sup>地拵え→苗木の植付け→下刈り→除伐→間伐」という流れで行っています。第1回目は地拵えについて説明します。

<sup>ちごしら</sup>

**地拵え**・・・人力（刈払機含む）若しくは大型機械を使って、苗木を植付ける場所を作ること。

### 地ごしらえ作業



背丈以上ある笹や草など刈り払い、木を植える場所を作ります。

効果的に地拵えを行うため、苗木を植える幅のみを刈り払うので、遠くから見るとお茶畑のように見えます。刈り払い箇所にもともと存在していた木で、成長する見込みのあるものは残します。（写真右上にも筋の中に大きい木があるのが分かると思います。）

刈払った笹等をエネルギーとして利用できれば良いのですが、今のところ、刈払った笹等は、刈り残した笹の中に入れていきます。

右上の写真は礼文林道から撮影したものです。右下が同じ場所の昨年写真で、筋の中に木がびっしり生えているのが分かるかと思います。

礼文は、風が強く、森林づくりには長い年月が必要となりますが、確実に森林は育ってきています。これからも礼文に森林を造るため、努力していきますので、よろしくお願いいたします。

### 地ごしらえ完了！



刈り払った筋の中に苗木を植えます。残した笹は風よけになります。



苗木の植付後、約10年経過